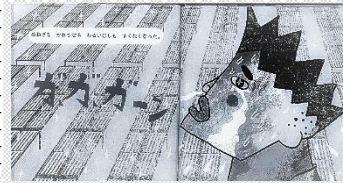


笑顔創造

Smile creation

第8号



発行日 2023年9月1日
発行元 京丸園株式会社
代表取締役 鈴木厚志
〒435-0022
静岡県浜松市南区鶴見町 380-1
E-mail kyomaru@ck.tnc.ne.jp
URL <https://www.kyomaru.net>

オランダ ケアファーム



2003年オランダの福祉施設が運営する農園を訪問しそれがケアファームであることを知りました。障がいのある人達が農業の現場でいい顔して働く姿がとても印象的でした。

この訪問から私は2つのテーマで研究を始めました。「農業経営を強くするには」「より良い福祉とは」
壮大なテーマでしたが訪問先で出会ったシオンスガーデンのクレメンド・ノーテンボーン氏から多くのヒントをいただきユニバーサル農業に繋がっていきます。

衰退産業と言われてしまう農業と、福祉は支えるものとしてどちらもマイナス要因と思われていますが本当にそうなのでしょうか？農業は、人が生きていくうえで欠かせない食料を生産し人は必ず年をとり老いて行きます。

この現実を考えると農業と福祉は欠かせないものであることは明らかです。であれば農業を衰退させてはいけなしいより良い福祉を目指さなくてはなりません。

20年前オランダで出会った農園で作業する人たちの笑顔は、農業と福祉の融合が2つのテーマの答えであることを教えてくれていたのです。

8月オランダワゲニンゲン大学でケアファームを研究されているマリオレン先生を尋ねユニバーサル農業の取組を発表しケアファーム研究を学びました。ケアファーム研究は、ヨーロッパに留まらずアジア、アメリカにも広がっているそうです。「農業と福祉」は万国共通のテーマとなって益々研究が進むことでしょう。

オランダ人口 1,753 万人でケアファームは、1,300 件あるそうです。日本人口 12,570 万人ですからこれから日本での広がりが楽しみです！研究続けていきます。

人の健康を応援する

今回オランダでは、大学での会議とケアファーム5か所訪問させていただきました。

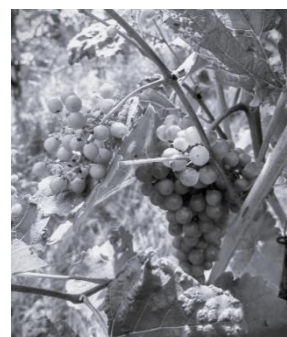
ケアファームが誕生して20年近い歴史があり1,300か所に拡大する中で取組は日々変化しているようです。

最初は、障がい者が対象だったようですが現在では対象者は、子供から高齢者と幅広く各農園では得意性を活かし教育をテーマにしていたり認知症の受け入れに特化していたり多様なケアファームが誕生していました。

農業の特性を最大限活かし野菜・花・果樹・牛・馬・山羊・豚・鶏等々を生産し農産物・加工品を直売し収穫体験などのメニューも用意され運営されています。

あらためて農業は、食料生産だけの場ではなく植物や動物と人との関わりの場によって人が健康になる場なのだと感じました。

農業は、食べることによって体を健康に導くことができます。そして、農地を耕すことによって働き場を作り出し心身を健康にできる産業なのです。



～ 今月の活動 ～

- 9月1日 静岡県立浜松北高等学校
- 9月2・3日 静岡経営塾
- 9月5日 裾野市認定農業者
- 9月8日 浜松市農業経営塾
- 9月16日 しずおかユニバーサル園芸ネットワーク
- 9月20日 ユニバーサル農業出版記念報告会(東京)
- 9月22日 農福連携企業向け勉強会(東京)
- 9月21日 豊橋市農業経営士協会
- 9月27日 アグリビジネスパートナーズ
- 9月29日 八重洲塾

◎参加できます！

9月11日月曜日 浜松建設的な生き方を学ぶ会
19:00～21:00 開催場所:京丸園

今月のことば

農業には

食と働き場の場を

作り出す力がある